

市政研究会 市川 哲夫 議員



- ① 鈴鹿の海の安全について問う
- ② 語り部ガイドについて

質問① 伊勢湾の沿岸では漁師さんの働く場、あるいは市民が楽しむ浜辺があるが安全性についてどのように対応しているのか。又、湾内を航行する船舶の安全に対する規制はどのようになされているか。

答弁① 海水浴シーズンには四日市海上保安部等の関係機関により、海上安全パトロール、事故防止啓発パンフの配布、現場指導などを実施し、水上バイク等の海難事故の防止と航行の安全確保に努めていただいている。又、伊勢湾を航行する船舶の安全確保につい

ては四日市海上保安部が漁船の海難事故の対策として、「厳重な見張り」「早期の注意喚起」「ライフジャケットの着用」等の指導を行っている。市としても漁協の安全啓蒙活動を支援し、協力して事故防止に努めていく。

質問② 語り部ガイドを通して本市の歴史、文化をシティセールスにと思うが今の活動内容とこれからの取り組みについてお伺いしたい。

答弁② 平成13年度「東海道石薬師・庄野語り部の会」として発足し地域に住む次世代の子供達に伝えていくことを目的として活動。今後も鈴鹿市観光協会と連携し地域の歴史遺産をより活用するとともに学習できるシステムづくりを目指し育成を図りたい。

新政会 大谷 徹 議員



- ① 地場産業である建設業の振興
- ② 入札契約制度のあり方について

質問① 経済情勢が厳しい中、市内の建設業の現状を市はどのようにとらえ、どのような対応を考えているのか。

答弁① 本市としては、建設産業の健全な発展と、地域経済の活性化のため、市内業者の育成に配慮し、中小建設業者の受注機会の確保に努め、適切な施工体制の確保や市場における競争の範囲内での可能な限りの分離・分割発注に努めている。

質問② 総合評価落札方式を導入した背景と目的は。

また同方式による試行と一般競争入札を比較してどのような成果と結果を得られたか。

答弁② 昨年より内部で検討を開始し、県の指導を受け具体的な審査方法などを行い、10月から試行に至った。「三重県総合評価審査委員会」に諮り、総合評価落札方式の透明性、公平性を図っている。試行は、設計金額3,000万円以上の土木工事が対象で、本年度14件あった。平均応札業者数は7.8社、平均落札率は64%、最も安い価格を提示した業者が落札者とならない逆転現象は2件あり、平均落札率に関しては、昨年度の一般競争入札の平均落札率と比較して10ポイント程度低くなっている。引き続き検証していきたい。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- ① 鈴鹿市のノーマライゼーション
 - (1) LED式信号等について
 - (2) バリアフリー生活館を鈴鹿市にも
- ② 子ども達の居場所づくりについて

質問①(1) 色弱の方が識別しにくいLED(発光ダイオード)信号の市内交換率と市への苦情等の有無は。又カラーユニバーサルデザインの考え方で色弱者のバリアフリー化を考えられないか。

答弁①(1) 省エネで寿命の長いLED式信号化率は車両用灯器で22%歩行者用灯器35%。視認性に関する意見等は、鈴鹿警察署、市へも寄せられていない。鈴鹿警察や三重県へ要望を伝えていく。

質問①(2) 加齢や障害等で不自由になった方の在宅生活を助ける用具や機器の展示や、相談・研修などができる複合施設を設置する考えはないか。

答弁①(2) 既存の在宅支援センターで展示をしているし相談の対応もしているので、新設する考えはない。

質問② 安全な居場所づくりで、放課後子供教室推進事業を展開していただいているが、安全なスペース作りだけでない、子ども達が、成長する為に活動できる場所づくりをする考えはないか。

答弁② 安全な居場所づくりを目指し、ボランティアの方々の力で、子ども達の学びの場を提供している。また、ボランティアの人材確保に努め、事業を推進し、子どもの成長のフォローを考えている。